

平成27年度 AOSSA 子ども家庭センター 子育て支援室・相談室

子ども家庭センター・子育て支援室・相談室 副室長 青井 利哉

子ども家庭センター・子育て支援室・相談室（以下、センター）は、児童福祉法第6条の2に準拠した地域子育て支援拠点事業を行うとともに、子ども相談・女性相談等を行う相談室を併設しているセンターになります。センターは、地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を目的としながら、子育て家庭を地域で支える取組を行っています。このようなセンターは全国に約6,500カ所（平成26年度厚生労働省報告）ありますが、今後さらに1万カ所（中学校区に1カ所）の設置を目標として掲げ、重点的に取組が推進されていく予定です。

当センターは、福井市との委託契約が次年度で満期を迎えます。今年度で9年目を終えようとしていますが、着実に福井市周辺地域における地域子育て支援に従事してきました。子育て支援ボランティアの養成や、子育て支援関連団体との共同行事、仁愛女子短期大学幼児教育学科の学生やボランティアサークルと一緒にの児童虐待啓発運動、公立保育所への出張相談活動など、この実績は、子育て支援機能と相談機能が併設された当センターの特色であると思っています。全国的に見渡しても、このような活動を行っている地域子育て支援拠点事業は見当たりません。今後ますます地域社会が一丸となって子育て家庭を応援するために、虐待防止や育児不安の解消につながる産前産後からの早い時期の家庭への支援が必要不可欠となっていくものであると考えています。

1. 平成27年度子育て支援室の実績

1) 子育て支援室利用数、小児科医師による相談開催状況

表1は、平成25年度から平成27年度（2月まで）の子育て支援室の利用数の推移です。総延べ利用数は、子どもの利用延べ人数と、その保護者の利用延べ人数を合算したものです。表2は、小児科医師による相談開催状況です。子育て支援室では、毎月2回小児科医師による相談会を実施しています。子どもの発育や病気などについて、病院へ行くまでもないけど、「専門的なアドバイスがほしい、ちょっと聞きたい」の声にこたえるような形で、福井市医師会の協力のもと開催されているものです。当番の医師が、子育て親にいろいろなテーマで話題提供をし、その後個別相談を実施しています。内容は、アレルギー、言葉の発達、夏の病気、薬について、夜泣きについて、予防接種、救急時の対応など、どれも身近なテーマです。

子育て支援室での体験学習は、仁愛女子短期大学の学生は毎年受け入れています。今年度は仁愛女子高校の学生の受け入れも始まりました。子育て親子からとても好評を得ています。

表1. 子育て支援室の利用者数

	世帯数 (世帯)	子どもの 延べ利用数(人)	総延べ利用数 (人)
H25年度	1,490	10,069	19,229
H26年度	1,499	9,242	17,657
H27年度	1,412	8,667	16,702

表2. 子育て講座の開催回数と参加人数

	開催回数(回)	参加人数(人)
H25年度	20	465
H26年度	22	481
H27年度	21	404

表 3. 子育て相談室の相談対応実績

単位(件)

	子ども相談	女性相談	ママダイヤル	小 計	専門相談計	(小児科)	(弁護士)	総合計
H25年度	813	610	624	2,047	187	(115)	(72)	2,234
H26年度	716	670	721	2,107	214	(141)	(73)	2,321
H27年度	557	763	378	1,698	151	(105)	(46)	1,849

2. 平成 27 年度相談室の実績

1) 相談室利用実績

表 3 は、平成 25 年度から平成 27 年度（2 月まで）の相談室利用実績の推移です。利用実績数はすべて延べ件数で表しています。表中のカッコ内は、専門相談合計における内訳を示してあります。

2) 公立保育所出張訪問相談の実績

相談室では、日頃の保育や支援によっても改善等が認められず、対応に苦慮している事例（家庭支援ケース）について、保育者へ助言することを目的として、試行的に公立保育所へ出張相談を行っています。今年度は、優先的に 4 カ園 12 事例に対応しました。



小児科医師による相談会の様子



仁愛女子高校の体験学習の様子

3. 地域支援活動

10 月 24 日に、仁愛大学子ども教育学科（石川先生にご協力いただきました）、子育て支援関連団体、福井市と協働して、学生によるオレンジリボン運動（児童虐待防止啓発運動）をアオッサアトリウム 1 階にて「こども笑店」の名称で開催しました。学生は、オレンジリボン運動の勉強会のため、福井市役所職員とのミーティングを事前に行いました。そこで学んだ内容を、ポスターにまとめ、子育て親子の目に留まるように掲示しました。また、子育て関連団体の催しも同時に行い、大変賑わいのある活動となりました（日刊県民福井にて記事になりました）。



児童虐待防止啓発運動（仁愛大学生による縁日広場）